

# 横須賀三浦教育会館、芸術の秋イベント情報

9月29日(日)名画セミナー ・ 10月13日(日)ふれあいコンサート

三浦半島地域連合・労福協構成組織の「横須賀三浦教育会館」から、芸術の秋にぴったりのイベント情報が届きました。どなたでもご参加できますので、ぜひこの機会にご検討ください。

「名画セミナー」は、画家や絵画を制作した時代背景などを楽しく学ぶことができ、絵画鑑賞をより深く味わうことができる、毎年大好評のセミナーです。今回はゴッホがテーマです。2026年には上野にて大ゴッホ展が開催されるそうですので、それに向けて足を運んでみませんか。

【入場料:1,000円】

公益事業 第97回教育会館ふれあいコンサート

美しく澄んだ音色が魅了する  
**歌うフルート&トランペット**  
デュオコンサート

2024年 **10/13日(日)**  
開場 13:30 開演 14:00  
場所 横須賀三浦教育会館

萩原貴子 (フルート)  
神代 修 (トランペット)

《Program》  
關伊玖磨 ☆生涯100年☆  
♪童謡メドレー  
♪オペラ『夕鶴』より  
徳永洋明 委嘱新作  
ブッチーニ オペラアリア集  
ピゼー カルメン幻想曲  
ネスラー  
パートゼッキンゲンのトランペット吹き  
徳永洋明 (ピアノ)

## ゴッホはどうして「ひまわり」を描いたのか？



フィンセント・ファン・ゴッホ『ひまわり』  
1888年 油彩、キャンヴァ  
所蔵先 SOMPO美術館

日本でも最も人気の高い画家ともいえるフィンセント・ファン・ゴッホ。1853年、オランダに生まれた彼は、画廊勤めや宣教師見習いなどをしながら自分の人生を模索し、27歳のときに画家になることを決意します。以来、毎日のように絵を描き、37歳で亡くなるまでに約2000枚にのぼる作品を残したと言われてます。ゴッホは絵を描くだけでなく、どのような気持ちでそうした絵を描いたのかを、家族や友人に宛てた手紙に綴りました。その多くは4歳年下の弟である「テオ」に宛てられたものでした。本講座では「ひまわり」をはじめ、ゴッホが絵を描く際にどのような状況や気持ちだったのかを、その手紙をヒントに紐解きます。



「睡蓮を描いた画家モネ 連作の魅力に迫る」の様子  
2023.10.1

「歌うフルート&トランペットデュオコンサート」は、過去に開催されたコンサートでも、「御三方の音色の素晴らしさはもちろん、合間のおしゃべりの楽しさ、そして萩原さんのステージ姿の美しさ、最高です。」との感想もあり、好評でした。

【入場料:大人 3,000円 高校生以下 1,000円】

どちらも申し込みは、直接、横須賀三浦教育会館(046-824-0683)にお願いします。